

# デジタルミラー活用UP術 (使っている施設の傾向は?)



使えてない施設

VS <sup>cool</sup>

使えている施設

ID番号

ID番号を登録せずに  
デモモードで使用



利用者ごとにID番号(個人  
別メニュー)で使用



- ・ID番号を登録しないと次第に使われなくなる傾向が高い
- ・紙に記録しデジタルミラー側面に貼り付けるか、メモ帳やアドレス帳を使って管理します。
- ・デモモードは、体験会や集団体操時に使用します。

リハビリ  
プログラム

リハビリプログラムにデジ  
タルミラーの項目がない



利用者ごとのリハビリプロ  
グラムに入れている

○月○日						
名前	エルゴ	ペダル エクサ	レッグ プレス	デジタル ミラー	赤外線 治療器	ラ ミ
Aさん	○		○	○	○	
Bさん		○	○	○	○	
Cさん	○		○	○	○	
Dさん		○		○	○	
Eさん	○		○	○	○	
平均				○	○	

項目すらないのは、使われていない施設で  
意外と多い

リハビリ  
プログラム  
自体がない  
施設

好きな人が、好きな時に  
自由に使う



いつ誰に何をするのが  
計画されている

「好きな時に好きな人が自由に使う」のは、最も使われない代表例

声かけの  
仕方

「金魚すくい」楽しいから  
やってみましょうよ



やるやらないの判断が楽しいか否か  
にすると、楽しくないからやらないに  
なってしまう

「リハビリメニューの1つとして実  
施します」と初めに伝えている  
又は例えば上肢運動では「肩が  
上がらなくなると洗濯物が干せ  
なくなったり棚のコップが取れな  
くなるので日常生活がこまらな  
いように運動しましょう」などリハ  
ビリ効果を説明している

使用  
利用者

やりたい人だけ



基本的に全員、  
もしくは軽度者全員

高齢者は自分だけやることに抵抗があるケースが多い。  
みんながやっているという傾向。



担当者

1人の担当者にまかせる

スタッフ全員

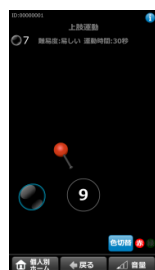


ひとりに任せると、その人が休んでいる時は使えないし  
退職による不使用も発生しやすい

コンテンツ

何をするのかが明確では  
なく、単発で使用

連続訓練の8番(個別訓練  
コース)を使用

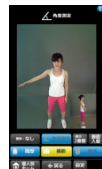


・出来るだけシンプルに使うことで、  
多くのスタッフが使えるようになる。  
・連続訓練は、コンテンツが自動で流れるので、  
スタッフの工数削減に役立ちます

測定

今までの測定を継続実施

測定項目、実施日程、対  
象者を決めている



測定のレポートは集客意識の高い施設  
が活用出来ている

使い始め

スタッフや利用者が慣れる  
為に、少しずつ体験使用

初めからルールを決めて  
実施

デジタル  
ミラーに  
対する印象

アミューズメント機器

リハビリ機器・効果測定器



アミューズメント機器としてとらえているところは、コンテンツに飽きて利用者が  
やりたがらなくなり、もっと他のものや新しいコンテンツが欲しいということが多い。  
楽しければ楽しいほど飽きやすい、単純作業の方が継続しやすい傾向に  
ある。楽しいのはリハビリのきっかけで、継続したモチベーションは、測定によ  
り効果を実感できることの影響が大きい

デジタル  
ミラーの  
導入理由

スタッフに共有されていない

スタッフに共有されている

導入理由が共有されていないと スタッフの協力が上がらない傾向